

特定非営利活動法人 金融知力普及協会

2018 年度事業報告書

2019 年 5 月

2018 年度事業報告

2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで

I. 事業の経過および成果（概要）

全ての人々にフィナンシャル・リテラシーを。この理念を実現することが我々の目的です。認定 NPO として様々なアプローチで金融経済教育に取り組み、金融経済教育団体としての知名度向上、そして事業収益の確保を図って参りました。

高校生向けの金融経済教育イベントの「エコノミクス甲子園」など、金融経済教育イベントの規模を拡大し、一定の実績を上げることができております。この大会の様子は多くのメディアでの露出にもつながりました。

一方で、昨年から引き続き財務状況の改善に取り組んでまいりましたが、収支均衡を達成できませんでした。事務局の責任であり反省しております。

2018 年度の主要事業の概要、主なトピックは以下の通りです。

I-1. 金融知力普及啓蒙事業

① 第 13 回エコノミクス甲子園を開催

代々木オリンピックセンター小ホールにて第 13 回エコノミクス甲子園の全国大会を開催いたしました。全国 45 会場で地方大会を実施し、インターネット大会代表の 1 チームを加えた 46 の代表チームで競技を行いました。福井大会代表の県立藤島高校チームが優勝し、優勝賞品として 4 月に NY 研修旅行を実施いたしました。第 13 回大会は全国で 1,250 チーム、2,500 名の高校生が参加をしております。

金子・森育英奨学基金は継続して実施し 2 名の奨学生が選ばれております。

② 経済カードゲームエコノミカの販売

カードゲームで遊びながら経済用語や資産運用について学べる「経済 TCG エコノミカ ブースターパック」を継続して販売いたしました。18 年度も三井住友アセットマネジメント社が、エコノミカをマスコットとして使用いただき大きな大会を開き、エコノミクス甲子園全参加者に送付するなど、成果をあげました。

③ 金融知力インストラクター対象のフォローアップセミナー実施

インストラクター向けの施策「フォローアップセミナー」を 2 回実施いたしました。セミナーの目的は、「インストラクターのスキル向上」、「資格更新機会の提供」となっております。座学での受講に加え、DVD 受講もできるようにし、全国から 41 名のインストラクターが受講いたしました。

I-2. 金融知力教育事業

① 通信教育

2018年度の通信講座受講者数は以下のとおりです。

新版通信講座	新規受講者数	昨年度	累計受講者数
ベーシック コース	93名	100名	1688名
アドバンスド コース	2名	5名	705名
合計	95名	105名	2393名

② セミナー・研修

2018年度に当協会が主催、受託、講師派遣した主な研修と受講者数は以下の通りです。

研修・セミナー	参加人数
【協会】インストラクター関連セミナー（2回）	6人

I-3. その他特記事項

① 寄附金

法人からはエコノミクス甲子園関連、総額1,435万円、3万ドルのご寄附を頂きました。

Ⅱ. 財務の状況

2018年度の収支の状況は添付のとおりとなっています。協会では例年公認会計士に全件監査を委託しており、引き続き財務会計の公正性、透明性を高めてまいります。

- ・ 経常収益は合計で、8,426万円から5,998万円への減少でした。
- ・ 事業費は5,499万円で、そのうち1,397万円が人件費となっております。
- ・ 管理費は1,246万円となっております。そのうち793万円が人件費です。
- ・ 事業費と管理費を合計した経常費用は、昨年の8,376万円から6,745万円へ減少いたしました。
- ・ 2018年度の損失は606万円となっております。

以上